

お祝いのメッセージ

2016年10月18日

台湾反賭博合法化聯盟 御中

日本全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会
代表 新里宏二

私たちは、台湾澎湖島におけるカジノ誘致を巡って、10月15日に実施された住民投票において、カジノ誘致に反対するという声が圧倒的多数を占めたとの報に接しました。

私たちは、この結果をたいへん嬉しく思いますし、みなさまのご尽力に、心から敬意を表します。

発表によれば、賛成票 6,210 票、反対票 26,598 票と、7年前に実施された同趣旨の住民投票の結果よりも、さらに大差をつけての勝利だったとのこと。澎湖島の住民は、賭博によらないまちづくりの道を、明確に選択されたのだと思います。

私たちは、2015年の「略奪的ギャンブルに反対する国際連帯行動デー」をきっかけにみなさまとの交流を開始しました。そして、今回の住民投票に合わせて、当会の新川真一事務局次長が渡台した折には、計三度の記者会見に同席させていただき、また、パレードにも参加させていただいたうえに、懇親の宴を催していただくなど、みなさまにたいへんな歓迎をしていただきました。私たちは、この場を借りて、みなさまの友情と連帯のしるしに、心からの感謝の言葉を申し上げます。

新川事務局次長からは、日本でのギャンブルを巡る情勢、とりわけ日本におけるギャンブル被害が極めて深刻であり、その対策が全くとられていないこと、そして、新たなギャンブルであるカジノ賭博の合法化が企まれていることなどをお伝えさせていただきました。

一方、今回の住民投票の結果は、日本や世界各地で取り組まれているカジノ賭博反対の運動を励ますこととなりました。私たちは、みなさまの運動を目の当たりにし自分たちの運動の進め方について重要な示唆を得ました。また、未来につながる友好関係を構築することができたと考えております。

私たちは、みなさまとの友好関係を一層発展させ、東アジアをはじめとする世界各国のギャンブル被害を根絶する運動の前進のために、また、目下日本でのカジノ賭博合法化法案の国会での審議入りを許さないために力を尽くします。

今後とも、みなさまからのご支援をいただければ、幸いです。